

ロータリーユニオン取付時の注意事項

- ・ マノクランプ、ロータリーユニオンの取付は、9～12ページの記載通りに行うこと。
芯出し不良は異常振動や焼付きの原因となるため注意すること。
- ・ 特に使い始めは、締付ボルトが馴染むまで数回締付け、振れを確認すること。
- ・ ロータリーユニオンの軸受は精密軸受であるため、必ず潤滑油をオイルミストとして供給すること。
- ・ エア配管を新規に行う場合は、潤滑油がホース口元に出るまで放出すること。
その後、Fポートに配管し、ミストフラッシュ（オイルミストの十分な供給確認）を行うこと。
- ・ 潤滑油が毎分3滴程度に供給されていることを確認の上、使用すること。
- ・ エアフィルタのろ過精度は $5\mu\text{m}$ 以下とすること。
- ・ 腐食性ガスは避け、清潔なドライエアでのみ使用すること。
- ・ 酸化性及び反応性のクーラントは使用しないこと。
- ・ クーラント圧力は0.5MPa以下で使用すること。
(HSタイプは1.0MPa以下で使用すること。)
- ・ エア源にはF.R.L. 3点セット（フィルタ、レギュレータ、ルブリケータ）を必ず設置すること。
- ・ 急激な温度変化は避け、使用温度は $5^{\circ}\text{C}\sim 40^{\circ}\text{C}$ とすること。

※ロータリーユニオンの起動時は慣らし運転を行い、急激な回転上昇は避けること。

以下の各回転数で、それぞれ5分以上運転させること。

① 500 min^{-1} ② $1,000\text{ min}^{-1}$ ③ $2,000\text{ min}^{-1}$

④ $3,000\text{ min}^{-1}$ ⑤ 以降は $1,000\text{ min}^{-1}$ ごとに実際に使用する回転数まで運転すること。

上記のように徐々に回転数を上げ、運転停止後に振れ、振動、発熱及び異音がないことを確認する。

マノクランプの保証

- 通常使用時の保証期間は納入日より1年間とする。
- 保証使用回数は100万回とする。

※本書の記載内容は、改良のため予告なく変更することがあります。